

平成 16 年 4 月 13 日

各 位

会 社 名 ネクストウェア株式会社
代表者名 代表取締役社長 豊 田 崇 克
(コード番号 4814)
問合せ先 取締役副社長 太 田 修 啓
TEL (06) 6281 - 9866

通期の業績予想の修正に関するお知らせ

平成 15 年 5 月 23 日の決算発表時に公表いたしました平成 16 年 3 月期 (平成 15 年 4 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 16 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,900	170	90
今 回 修 正 予 想 (B)	4,630	114	10
増 減 額 (B) - (A)	730	56	80
増 減 率 (%)	18.7%	32.9%	88.9%
前 期 (平成 15 年 3 月期) 実績	3,369	46	14

2. 平成 16 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,000	180	100
今 回 修 正 予 想 (B)	4,721	130	21
増 減 額 (B) - (A)	721	50	79
増 減 率 (%)	18.0%	27.8%	79.0%
前 期 (平成 15 年 3 月期) 実績	3,461	50	18

3. 業績予想修正の理由

(1) 単独業績の修正理由

当社は、当上半期において、アウトソーシング事業・ウェアコンサルティング事業ともに売上高は、堅調に推移し、前年同期比 44%増の増収となりましたが、損益面で、首都圏・東海地区の新規顧客獲得のための初期費用が加わったことやセキュリティ対策コストの発生が重なり、前年同期比より 53.5%の好転はしたものの、予想値に比べると後退いたしました。

通期の業績予想につきましては、中間決算時点において下記の前提に予想をおこないました。

アウトソーシング事業における下半期の新規・既存顧客の引き合い・受注増が見込まれる。

ウェアコンサルティング事業における新製品・サービス（POS CM・訪問看護支援システム「翡翠」、M & A 案件の新事業取込）の市場拡大効果が見込まれる。

実績面では、新規顧客開拓、ウェアコンサルティング事業における市場の拡大などにより、単独売上高で昨年対比 137%と予想を大きく上回る結果を得ることができました。

しかしながら、損益面では、単独経常利益で昨年対比 248%と増益となったものの、以下の理由により、前回予想を下回ることになりました。

大型不採算案件の処理（80 百万円）

M & A 調査経費の増額（13 百万円）

また、以下の特別損失が発生したことにより、当期純利益も予想を下回ることになりました。

401Kへの全面転換による退職金引当金の全額処理（17 百万円）

その他有価証券の評価減等（51 百万円）

(2) 連結業績の修正理由

上記単独の業績予想値の修正により通期連結業績の見通しを修正いたします。

連結売上高に関しましても、2月に実施した子会社による営業の一部譲受などにより、連結売上高で昨年対比 136%と予想を大きく上回る結果を得ることができました。

しかしながら、損益面では、連結経常利益で昨年対比 260%と増益となったものの、上記単独業績修正の理由により、前回予想を下回ることになりました。

子会社による営業の一部譲受により2月、3月の売上・利益は、加算されておりますが、2ヶ月間の加算のみのため予想数値を大きく上回るまでには、至っておりません。

しかしながら、来期は、大きく売上・利益に貢献する見込みであります。詳細は、5月21日の決算発表予定の決算短信業績予想にて発表させていただきます。

以上